



泉だより

IZUMI・DAYORI



2023.3.1 VOL.45

発行元



社会福祉法人 泉学園

Social welfare corporation IZUMIGAKUEN

〒702-8026 岡山市南区蒲安本町190番地

TEL (086) 264-2882

発行人 岡崎イツヨ



(巻頭言) **『明日へ』へ変わらずあるものを大切に**

岡山南障害者地域生活支援センター

『パンフルート』 管理者 西 幸子

玄関のチャイムを鳴らし『おはようございます。』『こんにちは。』と挨拶を交わしたあとパンフルートの支援が始まります。サービスの対象は地域で生活をされている様々な障害を持たれた方々です。パンフルートのサービスとしては、身体介護、家事援助、重度訪問介護、行動援護、通院等介助、相談・助言、情報提供、一人で交通機関を利用する事が難しい方の為の福祉有償運送があります。私達が当たり前のように思っている日常における生活が障害を持たれている方々にとっては、様々な障壁によって支障をきたしたり、課題が見つかります。そういう障壁をサポートしながら、円滑に地域での生活を送る事ができるようになればと、日々サービスを提供していくように心がけています。

そんな当たり前に暮らしていた日常が約3年前、新型コロナウイルス感染症により大きく変わってしまいました。このウイルスは全世界にパンデミックをもたらし、私達の日常の生活を奪い、地域で生活をされている利用者の皆さんにも大きな影響が見られるようになっていきました。当初、緊急事態宣言が発令され、特に外出時等にきちんとマスクはできるのか、隨時行う消毒はきちんとできるのか等、不安を抱えつつ、今までにないコロナ禍での生活がスタートしました。当たり前に生活していた日常が変わってしまい、先が見えない中で手探りながらも、できるところをご家族や関わっている方々と工夫しながら少しでもストレスなく過ごせるように心がけてきました。自身の気持ちも日々の暮らしの中ににおいて、コロナ禍で悪い事ばかりではなく、コロナ禍であることを受け入れ、変わった日常を少しでも楽しむことに変化していきました。少しでも長くバスに乗ることを楽しんだり、何気ない会話を楽しんだり、コロナ禍が終息したら何をしたいかと未来の話をしてみたり…等。今、心はとても晴れ晴れしています。

この3年失ったものも多くありますが、利用者さん一人ひとりが他人を想いやりながら過ごされている事にあらためて気付かされました。コロナ前の日常に戻るにはもう少し時間がかかると思いますが、変わついくものを受け入れ、変わらずあるものを大切にしながら明日へと繋げていきたいです。

ワークショップちどり

社会体験旅行へ行きました

(福井県→石川県)



ちどりにおいて皆さんのが最も楽しみにされている行事が宿泊を伴う社会体験です。しかしながらコロナ禍で規模を縮小したり延期したり、昨年度は2度延期の判断をし、結局実施できませんでした。皆さんの強い希望に応えられないもどかしさがありました。が、コロナ禍も3年目に入り活動が少しずつ緩和されてきたことで、7月15日16日に実施する決断をしました。安心安全に楽しんで参加出来ている行事になる様、10年来お世話になつてある旅行代理店と計画立案の段階から細かい部分まで話し合いを繰り返しました。初日は新幹線と在来線を利用し福井恐竜博物館へ行きました。リニューアルされた館内の恐竜の展示物はとても迫力満点でした。



旅行を終えた感想を聞くと、皆さんから「楽しかった」「来年も行きたい」「1年間仕事を頑張ります」「来年は○○へ行きたい」といった意見を頂きました。ご利用者の方々と充実した時間を共有出来た事は支援者冥利に尽きる想いでした。コロナ禍も4年目に突入しました。様々なことが緩和される方向が示されてきましたが、どの様な状況下でも皆さんの人生がより充実したものになる様、ちどりだからこその出来る事を探り、実行したい。改めて強く認識しています。

(西山利充)



2日目は金沢兼六園、ひがし茶屋街を散策しました。下調べをバッチリされた方が金箔ソフトへ直行されなど、暑さを吹っ飛ばして歴史風情の残った街ブラを満喫しておられました。

宿泊先は山代温泉街でも指折りの規模の様に大騒ぎが出来ない宴会でしたが、旅館サイドの配慮もあり、大いに盛り上がりました。

岡輝中学校吹奏楽部
演奏会開催!

泉の園

利用者の方々は音楽が好きな方が多く、待ち切れずに会場で楽しそうに待つ姿も見られました。吹奏楽部の方々が演奏の準備を始めると生徒の方10名で出していました。



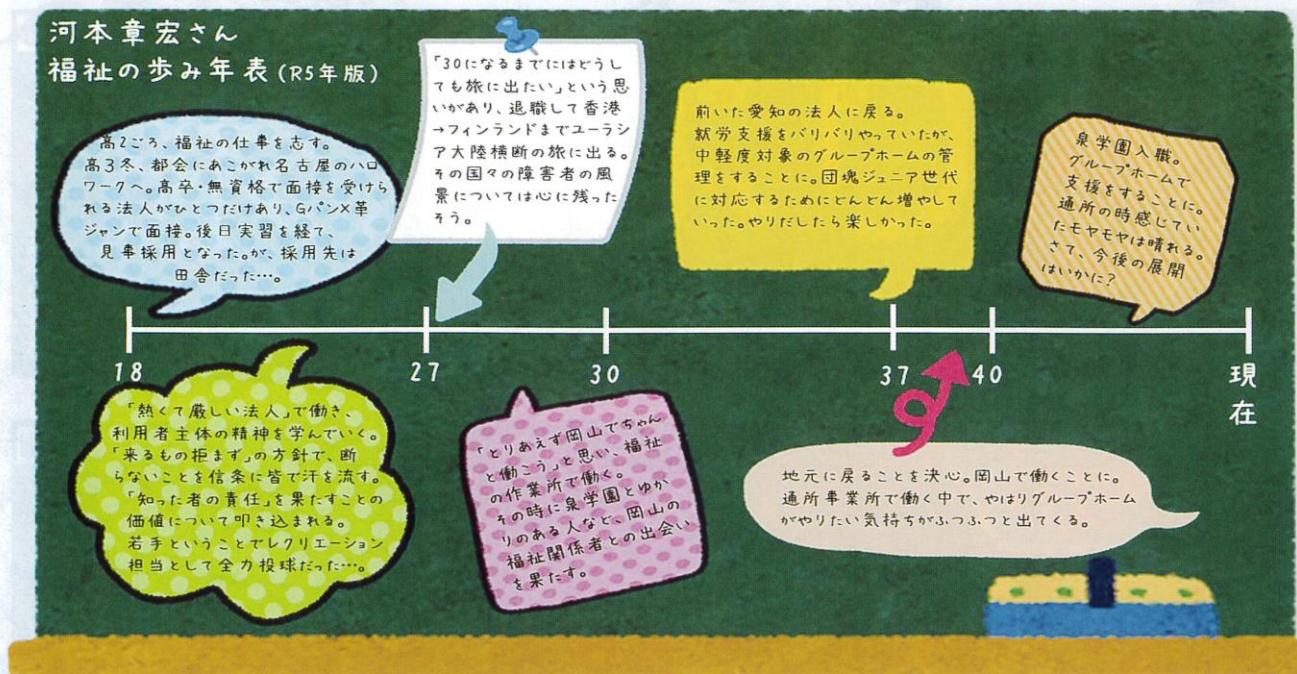
11月12日に岡輝中学校吹奏楽部の方々による演奏会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で様々な活動ができなくなっている状況下の中、貴重なお話を頂き、「ぜひ泉の園で演奏会をして頂きたい!」と思いお願いしました。感染症対策として屋外での開催となりましたが、当日は天候にも恵まれてとても楽しい時間になりました。

利用者の方々は音楽が好きな方が多く、待ち切れずに会場で楽しそうに待つ姿も見られました。吹奏楽部の方々が演奏の準備を始めると生徒の方10名で出していました。

新型コロナウイルスの影響で外部の方を招いてのイベントを開催する機会が少なくなっている事もあり、貴重な機会を頂きました。岡輝中学校吹奏楽部の皆さん、素敵な時間をありがとうございました。

(林俊輔)

グループホームの河本さんと語る



今回は泉学園の地域支援の要、グループホームの管理者をされている河本章宏さんに突撃取材を敢行しております。残務整理をしている中、快くインタビューに応じて頂きました。

福祉人としてのキャリアの中で、河本さんの思いや哲学に触れ、僕自身も色々と考えさせられました。一部ではございますが、皆さんと共にさせて頂けたらと思います。

河本さんの福祉との出会いやご

本人のあゆみを書くと、それだけ

で紙面が終わってしまうので、上

の年表を見て、僕といっしょに河

本さんの福祉のあゆみを振り返っ

てみて下さい。

さて、インタビューも佳境に入り河本さんの仕事のやりがいや大事にしていることをお聞きしました。

河本さんの福祉との出会いやご

本人のあゆみを書くと、それだけ

で紙面が終わってしまうので、上

の年表を見て、僕といっしょに河

本さんの福祉のあゆみを振り返っ

てみて下さい。

(河本さん、以下「河」)

● 「香」 河本さんのなかで、グループホームをやつていて、やりがいとして感じる部分って何なんでしょうか?

● 「河」 それはまあ、生活支援でしょ。ご本人全体を支援していくという意味ではグループホームがやりやすいんだと思う。もちろん日中と連携してはなるけど。

● 「香」 支援の中で、ここは自分の中でも大切にしている…みたいなことがありますか?

● 「河」 グループホームだけじゃなくて、通所でもなんだけど、一対一になる時間が大事だと思って

いて。たとえばトイレ介助をしている時間とか、グループホームで余暇支援で一对で出かける時とか。その人のことしか考えない時間がある。そこで一緒に話したり見たりしながら「もっとこんなことしてあげたいなあ。」とか、「こんなところ連れて行つてあげたらどんなやうな…。」とか、いろいろ考える。それは貴重な時間だなと思う。向こうから話を上手にしてくれる人じやなくとも、表情や様子を見て「こうしたいな。」「こんなに思うのが楽しいかな。」みたいに思うのが楽しいかな。

● 「香」 一対一の時間にどう意味づけするかですね。ただの業務と考えるか、その人に思いをはせる時間とどらえるか…。

-
-
-
-

その後、利用者支援のエピソードから波及して仕事観や仕事の取り組み方などの話に。一人ひとりのことを見事にできているかどうかなど、いろいろお話をさせていただきました。

● 「香」 最後に、これからしたいことを教えてください。

● 「河」 気持ちとしては「誰ひとり取りこぼさない支援」ができた最高だと思う。そのためには「スキル」がいる。自分には強度行動障害の方を受け入れられるだけのスキルがないと思うし、課題意識もすごくある。もうちょっとスキルを身につければいい、いっぱい取りこぼしちゃう

なと思う。また、支援が広がって、対応できる事業所が増える。そうすると、頼りにしてくれる人も増える。そうするとそれに魅力を感じる若い職員も入る:という風になつていいなと思う。たとえ思いがあつても、思いだけで正しい支援はできないと思う。思いとスキルは両方がバランスよくないと。

インタビューが終わつた後も話は続き、スキルの乏しい熱心な支援が本人の混乱をよけいに招いてしまつたエピソードだつたり、職員自身の他害行為のとらえ方だつたり、いろいろ話は広がりました。河本さんの思いに触れる中で、僕自身、福祉観や支援観について考えをめぐらすいい機会になりました。

興味を持った方、ぜひぜひ河本さんと語り合つてみてくださいね。(香川正憲)



なずな イオンモール様からのXmasプレゼント!!

泉の園 イオンスタイル岡山青江店様からのXmasプレゼント!!



開店時に福祉車両を寄贈頂いて以来、イオンモール様に黄色いレシートキャンペーンやイベント等を通じて度々お世話になつています。12月にはお菓子に加えタオルを頂き、クリスマス会にて皆にプレゼントを渡していきました。皆プレゼントを心待ちにしており、受け取つたら歓声を上げ嬉しそうにされていました。

レゼントを渡していきました。皆クリスマス会にて皆にプレゼントを渡していきました。皆クリスマス会にて皆にプレゼントを渡していきました。今年は皆さんが楽しみにしているクリスマス会が中止となつてしましました。



(江村・佐藤)



(樋口 雅人)



ご支援ありがとうございました！
一日社会体験旅行

今年度も公益信託梶谷福祉基金様の助成金を頂き、11月10日から11月25日にかけて自然体験公園と岡山市サウスヴィレッジに一日社会体験旅行へ行つてきました。



美味しいパンに囲まれて楽しく働かせて頂いています。どうぞよろしくお願いします。



いちばんぼし 下山 めぐみ
(R4 7月15日)
指導員

新任職員の紹介

